



2月

長門市立子育て支援センターだより

2025年2月1日発行

子育てお役立て情報

一年で一番寒い月を迎えました。外が寒い時は、家や支援センターでゆったりと過ごしましょう。

こんな時、赤ちゃんや子どもと向き合い、きずなを強くし、心や社会性を育んでいくためには、

赤ちゃんの時から大人の言葉がけが大事になってきます。子どもの自発性を伸ばすような言葉をかけていくといいですね。



0歳から2・3歳ぐらい



気持ちに共感しましょう。

「うれしいね」「かなしいね」など子どもの思いを言葉にしていくことを繰り返すなかで子どもは大人への信頼感を深め、言葉を覚えていきます。



プラス思考の言葉で伝えましょう。

「上がってはダメ」ではなく「下りようね」と肯定的な言葉をかけましょう。「ダメ」と言われ続けると、主体的な行動が出来なくなってしまう。



行動の前には必ず声をかけましょう。

急いでいる時にも無言は禁物。「〇〇ちゃん、おむつを替えようね」など名前を呼んで、次にする行動を説明するといいですね。



子どもをほめる言葉をかけましょう。

「〇〇ができてすごいね」「〇〇してくれてありがとう」とその場で具体的にほめたり、感謝の言葉を伝えたりする。



子どもへの声かけ

3歳から5歳ぐらい



具体的に説明しましょう。

「〇〇しなきゃダメ」ではなく、「〇〇だからこうしてね」とその理由を説明。「早くして」ではなく「いつまでに」を伝えよう。



期待を膨らませましょう。

出かける前にトイレなどの用事をすませて欲しい時は、次の行動を楽しく説明し「そのためには」今やって欲しいことを見通しを持って伝えよう。



子どもに考えさせましょう。

「こういう時はどうすればいい？」と子どもに考えさせるようなことばも効果的。



提案しましょう。

「こうしなさい」「やめなさい」ではなく、「こうしたらどう?」「こういう方法もあるよ」と提案しよう。



【絵本の読み聞かせ】ってすごい！

読み聞かせを通じて、まだ文字が読めない子も、絵を見たり、声を聞いて絵本を楽しむことができます。言葉を話さない赤ちゃんでも、絵本を見て「あっ、あっ」と言って指差しをします。それに対して「そう、ワンワンだね」「おいしそうなバナナね」と答えると満足そうな表情をします。そんなやり取りをしながら、少しずつ言葉を覚えていきます。各支援センターでは、毎月読み聞かせを行っています。

三隅保育園子育て支援センター

「おはなしルピナスさん」など

みのり保育園子育て支援センター

「どんぐり文庫さん」など

日置子育て支援センター「絵本と子育てミニ講座」など

油谷子育て支援センター「いないいないばあ」など

色々あります。参加してみたいはかがですか



いないいないばあ わらべうた
～No.91～
どんぐり文庫わらべうたあそびの会

節分「まめ」にちなんで わらべうたを紹介。子どもの足の指にさわりながら、足先の感覚を目覚めさせてあげよう。

ふくすけさん

① ② ③ ④ ⑤
ふくすけさん えんどう まめが こげる
よ はやく いって かましましな
～あそび方～ (片方ずつ)
親指から小指に一本ずつ うたいなからつまんでいく。途中折り返し、さじの指を回す。切ったスタートを次の指へと移す。

・寝ころがって
・おむつの上で
・向かい合って
どんな姿勢でも OK!

(担当)